



# 廃棄物(焼却灰・溶融スラグ等)に含まれる有害成分の迅速・簡易定量分析

廃棄物に含まれる有害成分の簡易定量や未知試料の元素分析にご利用下さい。

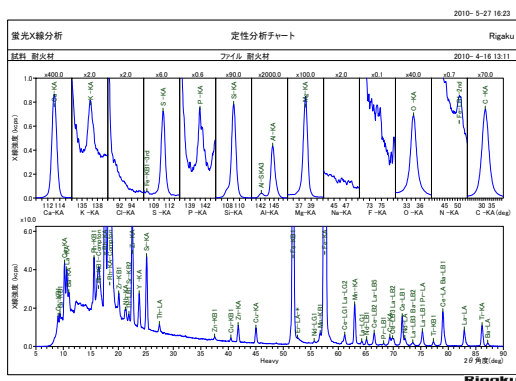
## 対象材料

- 試料の形態  
鉄鋼・非鉄材料、セラミックス、プラスチックなどの固形物、または焼却灰、スラグ、煤塵などの粉体。
- 用途  
焼却炉、精錬所から発生した焼却灰や溶融スラグ、またはプラスチック製品中の有害元素(Pb、Cd、Hgなど)の有無、含有量が確認できます。また、金属製品などの詳細分析前のチェック分析などにも適用できます。

## 蛍光X線分析(XRF: X-Ray Fluorescence Analysis)

- 多元素同時分析(マルチスキャン)に対応し、湿式分析よりも短時間で効率の良い分析が可能です。

分析可能元素 : C(炭素)~U(ウラン)  
 検出感度 : ppmオーダー(0.0001%)  
 分光結晶 : 波長分散型(WDX)、マルチスキャン



耐火物の定性分析チャート例



蛍光X線分析装置

## FP法(ファンダメンタルパラメータ法)による半定量分析(簡易定量分析)

- FP法は、様々な品種の未知試料に対して迅速に分析値が得られます。  
 蛍光X線分析法では、FP法により蛍光X線強度を理論的に計算し、測定強度から組成を求めることができます。波長分散型(WDX:Wavelength Dispersive)分光結晶・検出器により、ppmオーダーまで検出が可能です。

化学分析値との比較(分析サンプル:フェライト系ステンレス鋼)

	Si	Mn	P	S	Cr	Ni	Cu	Nb	Mo	Al
FP法 (mass%)	0.19	0.22	0.007	0.032	27.9	0.018	0.021	0.010	0.052	0.019
化学分析値 (%)	0.19	0.20	0.004	0.028	27.06	0.019	0.012	0.016	0.056	0.013

(※FP法は、簡易定量であるため、数値を保証するものではありません。)



JFE テクノリサーチ 株式会社

<http://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2012 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.  
 本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。